

# JEF 馬場馬術競技 S1課目

時間 5'30''(参考時間) 馬場 20m×60m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 収縮駢歩で入場 停止ー不動ー敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	<b>C</b> <b>HE</b> 左手前蹄跡に入る 左肩を内へ	10					整正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
3.	<b>EX</b> <b>XB</b> 左へ直径10mの半輪乗り 右へ直径10mの半輪乗り	10					整正、速歩の質、図形 収縮、バランス、流暢さ	
4.	<b>BF</b> <b>FAK</b> 右肩を内へ 収縮速歩	10					整正、速歩の質、屈曲と一定した角度 収縮、バランスと流暢さ	
5.	<b>KXH</b> 往復手前変換ハーフパス	10					速歩の整正と質、一定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉 姿勢変換	
6.	<b>HCM</b> <b>MXK</b> <b>KA</b> 収縮速歩 斜め手前変換、伸長速歩 収縮速歩	10					整正、エラスティシティー、バランス、 歩幅とフレームの伸展 後躯のエンゲイジメント	
7.	<b>AF</b> <b>FS</b> <b>SH</b> 中間常歩 斜め手前変換、伸長常歩 中間常歩	10			2		整正、背のサプルネス、活発さ、 オーバートラック、肩の自由さ、 ハミへの伸展	
8.	<b>H</b> <b>GM間</b> 右へ回転 収縮常歩 右へ半ピルーエット	10					整正、活発さ、収縮、大きさ 諸関節の柔軟性、屈曲 前進気勢、4ビートの維持	
9.	<b>GH間</b> 左へ半ピルーエット	10					整正、活発さ、収縮、大きさ 諸関節の柔軟性、屈曲 前進気勢、4ビートの維持	
10.	HG(M)G(H)G収縮常歩	10					整正、背のサプルネス、活発さ、 歩幅の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ、常歩の質	
11.	<b>G</b> <b>M</b> <b>GMR</b> 右収縮駢歩で発進 右へ回転 収縮駢歩	10					明確でスムーズな移行  駢歩の質	
12.	<b>RBEBP</b> <b>PFAK</b> 中間駢歩(Bで直径20mの輪乗りを含む) 収縮駢歩	10					駢歩の質、歩幅とフレームの伸展 バランス、アップヒル傾向、真直性、 明確でスムーズな移行	
13.	<b>KX</b> <b>XI</b> <b>I</b> <b>C</b> 右へハーフパス 直行進 フライングチェンジ 左手前蹄跡に入る	10					駢歩の質、収縮、バランス、流暢さ 一定した屈曲、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	
14.	<b>HK</b> <b>KAF</b> 伸長駢歩 収縮駢歩	10					駢歩の質、インパルジョン、バランス 歩幅とフレームの伸展、真直性、 アップヒル傾向、中間駢歩との違い	
15.	<b>FX</b> <b>XI</b> <b>I</b> <b>C</b> 左へハーフパス 直行進 フライングチェンジ 右手前蹄跡に入る	10					駢歩の質、収縮、バランス、流暢さ 一定した屈曲、 アップヒル傾向、前後の駢歩の質 フライングチェンジの真直性	

